

あなたの「押し」の自然を教えてください！

～かけがえのない神奈川の自然を未来に～

2026生物多様性ホットスポット選定スタート！

森林の荒廃や草地の激減、外来種の蔓延やシカ食害の拡大など、神奈川県自然环境は以前にも増して危機的な状況にあると言っても過言ではありません。ネイチャーポジティブ（自然再興）が叫ばれる今、専門家と県民・民間団体が総力を結集し、県内の貴重な生態系の保全と回復に取り組んでいく必要があります。

NPO法人神奈川県自然保護協会（以下「県協会」）では2015年度に神奈川県の生物多様性ホットスポット191箇所を選定しました（「かながわの自然」67号）。10年後の本年2025年、協会の設立60周年を機に10年間の自然環境の変化を踏まえた神奈川県で「守るべき自然」として、生物多様性ホットスポットの追加、見直しを進めています。今回の選定には人工的自然再生地（「ビオトープ」など）を加えました（カテゴリーC）。選定作業には各分類群の専門家の知見に加え県民、環境活動団体、研究者、企業の方の推薦を募集いたします。

選定にあたって、以下のような3種類の生物多様性ホットスポットを提案します。

カテゴリーA：希少種（県内で分布が限られる種）や絶滅危惧種が集中して産する地域（一般的な生物多様性ホットスポット）；KBA*の「危機性」に対応

カテゴリーB：希少種などは特に産しないが、県や地域の生物多様性の保全上、特に重要な役割、機能を持つ地域；KBAの「非代替性」に対応
例：サギ類の集団営巣地／魚類の産卵場／豊かな生物相を有する里山林／市街地に小面積で残された森林、半自然草原、池沼など

カテゴリーC：今回の選定で新設されたカテゴリーです。国のOECMでも重要視されている人工的な自然再生地（「ビオトープ」など）で、希少種や生物多様性の保全・再生に一定の成果が認められ、かつ過去5年以上良好な生物多様性や生態系の保全に成功している箇所が相当します。生物の評価の基準は上記A、Bに準じます

*KBA：国際自然保護連合が主導して策定された「生物多様性の保全上重要な鍵となる地域」のこと

選定によって期待されるメリット

1. 守るべき自然であることが公表され、大切な場所であるという認識を多くの人と共有できるようになる
2. そのためその自然の管理や利用の仕方について配慮すべき事項の助言が可能になり、よりよい環境を保全できることが期待できる
3. 開発や改変の事業計画が抑制される防御になる。協会は報告者の方と協力して、その場所が重要な生態系として保全されるよう、関係行政に働きかけられる
4. 盗掘や密猟のような被害が起きる危険性を低減できる

＜協会では公表による盗掘や密猟の危険性のため、場所の詳細や希少種名は公表しない方針です＞

お願いしたいこと

＜アンケートの締め切りは 2026 年 2 月 28 日（土）です＞

お願いしたいのは上記の 3 種類のカテゴリーのいずれかに相当すると思われる地域の情報とその推薦理由の提供です。

今回のホットスポット選定のアンケートはインターネットを介した電子的な方法で行います。以下の神奈川県自然保護協会のページを PC やスマホなどで開き応募用紙（Excel ファイル）をダウンロードし、記入して返送ください。写真や地図も必要ですが張り込むのが難しい場合は添付してお送りください。Excel のファイルへの書込が難しい場合はファイルを印刷し、手書きで書き込んだものを写真（jpg）で送られるのでも結構です（送付先は末尾）。



url:<http://ww01.eco-kana.org/2026/01/12/biodiversity-hotspot-2026-survey>

☆ちなみに 2015 年にご応募された候補地は 9 割以上が採択されました。

アンケート結果を含めた生物多様性ホットスポットの選定結果は 2026 年 3～4 月を目処にウェブサイト、会報「かながわの自然」、新聞などで公表予定です。

また神奈川県内の生物多様性保全活動に関する情報共有・交換のための広範なメーリングリストの設置を計画しています。今回ご応募戴いた方にはその承諾依頼に関する連絡を後日差し上げる予定です。よろしくご検討ください。

選定メンバー

応募された生物多様性ホットスポット候補地は当協会の生物多様性保全委員会で確認・選考作業を行います。2025 年度の委員会のメンバーは以下のようです（敬称略、順不同）。

勝山輝男（神奈川県立生命の星・地球博物館名誉館員）	-----植物
岸 一弘（県自然保護協会・神奈川昆虫談話会）	-----昆虫
萩原洋平（日本野鳥の会）	-----鳥類
勝呂尚之（かながわ淡水魚復元研究会）	-----陸域魚類・両生類・甲殻類
林 公義（相模湾海洋生物研究会）	-----海域生物
山口喜盛（生命の星・地球博物館外来研究員）	-----哺乳類
村上雄秀（県自然保護協会）	-----植生・統括
青砥航次（県自然保護協会）	-----全般
小池 治（横浜国立大学名誉教授）	-----全般

アンケート送付先・問い合わせ（極力メールでお願いします）

E-Mail：cbc@ecokana.skr.jp 神奈川県自然保護協会 生物多様性保全委員会

〒251-0015 神奈川県藤沢市川名 912-3 Tel: 0466-22-9473

神奈川県自然保護協会事務局 八城敬友